

兵庫県版

# 日本の息吹

兵 庫 版

第二〇六・二〇七合併号 平成三〇年（皇紀二六七八年）  
二月二日発行 日本会議兵庫県本部事務局  
六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一  
兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）  
HP <https://www.nipponkaigyogo.org/>  
メール [nipponkaigyogo@gmail.com](mailto:nipponkaigyogo@gmail.com)



# 賀正



## 《第二回神戸支部総会》

平成三〇年一月九日（日）、長田神社参集殿にて、一四時より平成三〇年度神戸支部総会が、一五時より特別記念講演が、一七時より懇親会が実施されました。

### 第一部 総会

開会の辞、国旗敬礼、国歌斉唱、綱領唱和の後、主催者代表挨拶（垣田宗彦支部長）、来賓紹介、来賓挨拶（三木英一県本部代表、片山大介参議院議員、嘉田弘幸兵庫県議会議員、守屋たかし神戸市議会議員）、祝電披露、活動報告、活動方針案、宣言文、聖寿万歳と続き、無事終了しました。



### 第二部 特別記念講演

『明治一五〇年 国を守る気概』と題して、東郷宏重先生（元海上自衛官一佐、東郷平八郎元帥曾孫）による講演が実施されました。

ご講演内容は、幕末の西郷家と東郷家との関わり、幼少期・青年期・老年期での東郷平八郎元帥のエピソード、先生の近況など。

参加者は一六〇名を超え、急遽追加した座席が会場に入り切らなくなるほどの盛況となりました。



## 《12月22日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物》

- 1月14日（月・祝）街頭活動（神戸）
  - 2月11日（月・祝）天皇陛下御在位30年をお祝いする県民の集い・建国記念の日を祝う会（神戸，姫路）
  - 7月7日（日）女性の会教育講演会（生田神社）
  - 7月15日（月・祝）日本会議兵庫県本部総会
- 未定部分は、決定次第最新号でお知らせいたします。

第三部 懇親会

東郷宏重先生にもご参加頂き、実施されました。東郷先生からは、DVD映像にて今年五月の訪露の御様子、また、この時季に合わせ『第九』をご披露頂きました。



《三島・森田

両烈士慰霊祭》

平成三〇年十一月二十五日（日）、一四時三〇分、三島・森田両烈士慰霊祭主催にて長田神社（神戸市、旧官幣中社）参集殿にて実施されました。以下に誓詞のみご紹介致します。

誓詞

三島由紀夫・森田必勝両烈士の御霊の御前に謹んで誓詞を奏上申し上げます。



本年で平成最後の十一月二十五日となりました。四十八年前、市ヶ谷で義挙に及ばれたその想いは、檄文全三千二百十文字と共に我々が引き継ぎました。諸先輩方のご努力や、論陣を張っていただいた諸先生方の力が結集し、国会では改憲勢力が三分の二を占め、民間においては全国三百小選挙区に国民投票勝利に向けた連絡会議が着々と設立され始めています。

日本を取り巻く国際情勢の悪化した祭祀国家であり、天孫降臨の際に託された三大神勅こそがわが民族の最高使命である以上、ここに立脚なくして真の憲法改正はあり得ません。つまり建軍の本義とは国體を護る皇軍の憲法上への明記でなくてはならない筈です。前述の外的要因による自衛隊の憲法上への明記の論理と、後述の我々日本人が自らの魂に問いかけ内面的覚醒による憲法上への明記、この二つの運動の必要性を感じました。

国民投票を勝ち取るため、後述の精神的論理は表には出していませんが、変革の本質を忘れていく訳ではありませんのでどうぞご安心ください。必ずやこの勝機を逃さずに憲法改正を成し遂げます。

願わくば、三島由紀夫先生、森田必勝先生のご加護をいただき、吾等の運動をお導きいただきますことを切に祈り捧げます。

改憲の道義的意義を問わなければならず、もしそれなくば憲法の空文化が進み、延いては精神的な敗退が続く事になります。変革の原理こそ、「歴史・伝統・文化の時間的連続性に準拠し、惟神に続く生活経験と文化経験の集積の上に成立する」国體です。我が国は天皇を長と

平成三十年十一月二十五日

三島由紀夫・森田必勝両烈士

四十八年祭実行委員会